

2024年9月27日

東北大学  
総長 富永 悌二 様

公益財団法人大塚敏美育英奨学財団  
事務局

### 留学生推薦のお願い

拝啓 平素はひとかたならぬご厚情にあずかり御礼申し上げます。

さて、弊財団は国際親善と国際理解を担う有能な人材を育成することにより、日本と世界の国々との学術、文化、教育の相互発展及び友好の発展に寄与することを目的として、日本国内の大学及び大学院に在学する優秀な外国人留学生に対する奨学事業を行っております。

弊財団はこれまで貴大学の留学生を奨学生としてお迎えし、支援してまいりました。

2024年度に引き続き、2025年度も大学推薦による応募を受け付けることになりましたので、貴大学の優秀な留学生を是非ご推薦いただきたく存じます。別添詳細及び同封のパンフレットをご高覧の上、11月25日(月)までにご担当部署で下記応募書類をお取りまとめの上、弊財団までご推薦くださいますようお願い申し上げます。

なお、弊財団は大学より推薦していただく「大学推薦」と、留学生本人より直接ご応募いただく「直接応募」の2つの方法で奨学生採用を行っております。3月中旬(予定)より募集を開始いたします「直接応募」にも積極的なご応募をお待ちしております。

末筆ながら、2024年度奨学生募集にあたり多大なご支援を賜りましたことに深謝いたしますと共に、貴大学のますますのご発展を心よりお祈り申し上げます。

敬具

### 記

- ・対象者：大学院の正規課程に在学し、医歯薬学・工学（ただし医学・薬学に関連の深い分野に限る）・経営学（発展途上国出身の留学生については「国際関係学分野」も対象に含む）に関連する分野を研究する学業優秀な外国人私費留学生（国籍の制限はありません）

※弊財団は文系・理系を問わずデータサイエンスを活用して研究成果を目指す人材の育成に取り組んでおります。上記分野で該当する留学生の積極的なご応募をお待ちしております。

- ・年齢：2025年4月1日時点で満38歳以下

- ・募集人数：医歯薬学1名・工学1名・経営学1名（継続申請可）

※継続申請：今年度成果・進展のあった者に限る。修了延期の可能性のある者は推薦不可

- ・ 給付金額：年額200万円、150万円又は100万円
  - ※弊財団選考委員会による評価に応じて決定。他奨学金との併給不可
  - ※特に研究成果及び品行の優れた継続申請者（若干名）に年額250万円の給付を行うことがあります
- ・ 奨学期間：2025年4月～2026年3月（1年間）
  - ※奨学期間中、貴大学に在学していることが条件です。
  - ※奨学期間は1年間ですが、継続申請を認めます（継続申請による最長奨学期間は、最終目標とする学位取得までの最短修業年限まで）
- ・ 応募締切：11月25日（月）15時必着
- ・ 応募書類：弊財団指定の奨学生願書・指導教員による推薦状（密封のこと）  
成績証明書・在学証明書・住民票  
論文のコピー（該当者のみ）
  - ※願書と推薦状は、申請サポートシステムよりダウンロードのうえ、印刷してご記入をお願いいたします。
- ・ 提出方法：ご担当部署で取りまとめの上、別添に記載の弊財団事務局までご郵送ください。
  - ※別途 Web 提出が必要です。詳細はパンフレットをご覧ください。
- ・ 選考方法：書類選考、面接及び選考委員会を経て理事会で決定いたします。
- ・ 選考結果：3月末日までに貴大学にお知らせいたします。

※推薦対象者の該当がない場合、又は募集人数に満たない場合は11月8日（金）までに事務局までお知らせください。

(別添)

## 留学生推薦にあたってのお願い

### (推薦対象者の資格)

- 大学院の正規課程に在学し、医歯薬学・工学（ただし医学・薬学に関連の深い分野に限る）・経営学（発展途上国出身の留学生については「国際関係学分野」も対象に含む）に関連する分野を研究する学業優秀な私費留学生（在留資格が「留学」の者に限る。ただし研究生は不可）
- 【医歯薬学】在籍する研究科にかかわらず、医歯薬学に関する研究をしている、博士後期課程（一貫制博士課程も可）に在籍する者及び博士後期課程への進学を強く希望し準備を進めている博士前期(修士)課程2年生（2025年4月時点）
- 【工学】在籍する研究科にかかわらず、人間医工学・生体材料工学、人間支援工学・医療福祉工学、生命情報学・計算科学、創薬等、医学・薬学に関連の深い工学に関する研究をしている、博士後期課程（一貫制博士課程も可）に在籍する者及び博士後期課程への進学を強く希望し準備を進めている博士前期(修士)課程2年生（2025年4月時点）  
※医学・薬学との関連（学会発表、論文などの実績を含む）が願書に明記されていない場合は不合格となります。  
※対象となる分野の詳細は奨学金募集要項（パンフレット）のQ&A もご参照ください。
- 【経営学】在籍する研究科にかかわらず、経営学に関する研究をしている（経営学に関連していれば経済学、データサイエンスなど幅広い分野が対象。経営学の基盤ができていない発展途上国出身の留学生については「国際関係学分野」も対象に含む）、博士前期(修士)課程及び博士後期課程に在籍する留学生
- 【データサイエンス】上に記載の分野でデータサイエンスに関する研究をしている留学生
- 2025年4月1日時点で満38歳以下の人
- 国際的視野を持ち、日本と母国の架け橋としてリーダーシップを発揮できる人
- 革新的な研究に携わる人
- 奨学期間中に研究成果が見込まれる人  
※弊財団の奨学生として採用された場合、一級の研究成果が求められます。選考においても原著論文の出版などの研究成果を高く評価します。
- 学資の支弁が困難と認められる人
- 当財団のイベントや奨学生のネットワークに積極的に参加し協力できる人
- 日本語を学ぶ意欲のある人
- 研究成果をもって社会貢献を期する人
- 財団に提出する書類（応募書類を含む）に対して指導教員などのしかるべき指導、チェックを受けられる人



- 過去に貴大学からの推薦により弊財団の奨学生として採用された人で、継続推薦にふさわしいと判断される場合は、継続申請も認めます。継続申請する場合は、継続申請用の願書を使用してください。

※弊財団の選考基準に基づき、継続申請をご遠慮いただく場合があります。

- 2023年度より、「奨学期間は最長3年間まで」という規定を撤廃しました。最短修業年限内に修了予定で、研究の進捗や品行などから継続申請にふさわしいと判断される場合は、奨学期間4年目以降も申請が可能です。また、秋入学の2024年度奨学生で2025年秋修了が見込める人に限り、半年間の継続申請が可能となりました（採用された場合は2025年秋に学位取得証明書など修了を証明する書類を提出していただきます）。積極的なご応募をお待ちしております。
- 標準修業年限内での修了が見込めない人は推薦対象外です（長期履修生やオーバードクターも不可）。採用されてから修了延期となった場合は奨学生資格が取り消されます。
- これまで直接応募で1度でも弊財団の奨学生として採用されたことがある人、又は過去に弊財団に応募し不合格になった人は推薦対象外です（直接応募にてご応募ください）。推薦対象外の人が推薦された場合は不合格となります。

※弊財団で過去応募者の記録と照合いたしますので、予めご了承ください。毎年、過去不合格歴があるという理由で複数の応募者が選考対象外となっています。被推薦者の応募歴が不明な場合は事前にお問い合わせください。

- 授業が夜間・週末中心の人、通信制の人は推薦対象外です。
- 奨学期間中に合計40日以上日本を離れる人は推薦対象外です（交換留学、帰省、旅行、日本国外からオンライン授業を受けている等も含む）。

※応募、書類選考、面接、内定、認定式の時点で日本国外にいる人は推薦対象外です。

- 滞日期間が長い人（新規申請者で、応募時点で滞日期間が7年を超える人は選考対象外）、留年や転学などのため必要以上の年数を学生として在籍している人、明確な目的のない2つ目の修士号または博士号の取得、親が日本在住、配偶者が弊財団の奨学生などの場合は、推薦対象となりません。
- アルバイトなどの収入は選考結果に影響しませんが、JRA（Junior Research Associate Program）など給与として安定的に受給するものがある場合は推薦できません。
- 他奨学金との併給は不可です。

国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）の「次世代研究者挑戦的研究プログラム」、文部科学省の「科学技術イノベーション創出に向けた大学フェローシップ創設事業」他、同様のプログラム／プロジェクトに基づく給付金との併給はできません。

研究奨励費、研究専念支援金などの名称にかかわらず、使途（研究に直接必要な物品の購入費用など）が指定されていないもの、生活費にあてられるものはすべて奨学金とみなします。

### (国籍)

- 選考にあたり、特に国籍の多様性を重視します。
- 新規申請者を推薦する場合は、前年度採用された人と異なる国籍の人を優先してください。

願書の内容が乏しい場合や成績等、弊財団の奨学生の基準を満たさない人が推薦されてきた場合は不合格とする他、場合によっては願書の再提出または別の候補者の推薦をお願いすることがありますので予めご了承ください。

### (応募方法)

申請サポートシステムを導入しています。願書他の「Web 提出」と「郵送」の両方の手続きが必要です。※詳細はパンフレットの別紙「申請の流れ」をご覧ください。

1. 被推薦者は <https://otsuka.yoshida-p.net/suisen/> より申請サポートシステムへ入り、「申請の流れ」に従って基本情報を入力の上、スキャンして PDF にした願書（推薦状は除く）、成績証明書、日本語訳（英語で願書を記入した場合のみ）を Web 提出してください（論文など、指定されていない書類はアップロードしないでください）。ログイン用の ID と Password は同封の封筒をご覧ください。

※基本情報には願書に書いたことと同じことを入力してください。入力した基本情報と願書の内容に差異がある場合は不合格となります（特にカタカナ表記の氏名、研究タイトルにご注意ください）。

※推薦状を除く願書の全ページ（写真のあるページはカラー）がアップロードされていない場合は不合格となります。

※Web 提出する願書にも必ず写真を貼付してください。

※願書は必ずスキャンして PDF にしてください（アプリなどで撮影して写真を PDF 化したものは不可。横向き不可）。

Web 提出のやり直しはできません。よく確認の上、提出ボタンを押してください。

2. Web 提出後に通知される受付番号を指定の 5 箇所（「申請の流れ」STEP 4 参照）に記入の上、応募書類をまとめて大学の担当者に提出してください。推薦状を密封した封筒にも受付番号を書いてください。

3. 大学のご担当者は応募書類をお取りまとめの上、事務局宛に郵送してください。

※Web 提出した願書と郵送した願書に差異がある場合は不合格となります。



## (応募書類)

- 願書の作成にあたり、ChatGPT の使用は一切認めていません。申請者は、ChatGPT を使用していないことを願書の最後で宣誓の上ご応募ください。
- 願書・推薦状は申請サポートシステムからダウンロードしてください。  
申請サポートシステム: <https://otsuka.yoshida-p.net/suisen/>  
※弊財団ホームページからはダウンロードできません。  
※誤った願書で応募した場合は不合格となります。
- 新規申請と継続申請、医薬系と経営系で願書が異なりますのでご注意ください。  
(工学は医薬系の願書、工学用の推薦状を使用してください。)  
※継続申請者は過去に応募した際の願書を書き写さないこと。一部でも書き写しがあれば不合格となります。
- 奨学生願書は推薦状以外、すべて応募者本人が日本語または英語で手書きで記入してください(消せるペン・青インクのペンは使用不可。タイプした願書や代筆が含まれているものは選考対象外となります。日本語訳は手書きである必要はありません)。
- 推薦状は、在籍校で専門授業や研究指導を請け負っている方、及び可能であれば研究科長からのものをそれぞれ密封の上、提出してください。  
※博士課程の学生を推薦される場合、学位論文の指導資格のある方、学位論文の完成に責任を持つ方からの推薦状が必要です。
- 選考にあたっては推薦状の内容を重視します。具体的な内容が乏しい、前回の推薦状と大幅な重複がある、署名が自筆でない、応募者本人が推薦状を書いているなど、推薦状の不備は評価に影響します。推薦状が英語の場合は日本語訳を添付してください。
- 選考委員より例年「推薦状が乏しく具体性に欠けるために評価が難しいケースが複数ある」との意見がございます。採用を希望される場合は、奨学生としてふさわしい理由や研究テーマの意義などが選考委員に伝わるようご記載をお願いいたします。
- 願書の内容について、正しい日本語(英語)で書かれていない場合、また科学的根拠や具体性、論理性に欠ける内容の場合は指導教員、担当部署のしかるべきチェックを受けていないとみなし、不合格とします。
- 日本語ができない留学生の場合、応募者本人が英語の手書きで奨学生願書を記入すれば応募可能ですが、必ず日本語訳を添付してください(両面不可。日本語訳の様式は問いませんが、願書のページごとに、ページを分けて書いてください(研究内容のみ、ページを分けて2ページ分を続けて書いてもかまいません)。また、英語で書かれている部分は固有名詞を含めすべて訳してください)。原文にない内容が訳に入っている、不自然で意味の通らない訳、誤訳、大幅な訳漏れ等の日本語訳の不備は選考対象外となりますので、ご注意ください。
- 英語の手書きで記入する場合、「将来の抱負(将来の抱負とこの1年の進捗)」「研究内容

(研究内容について、この1年の進捗と来年の研究計画)」「過去1年の成果及び活動」のマス目は無視して記入してください。ただし、上記3項目の日本語訳については必ず字数制限を守り、字数を明記してください。

- 選考委員が願書进行评估しますので、丁寧に読みやすい字で書いてください。英文の場合も同様です。乱雑な字、極度に読みにくい字は奨学金への意欲がないと見なして不合格となります。
- 願書の⑤外国人留学生担当部署には研究室ではなく、大学(研究科)の事務ご担当者の連絡先をご記入ください。
- 応募書類の詳細については、奨学生願書表紙の「奨学生応募書類チェックリスト」を参照してください。
- 応募書類は返却しません。

#### (奨学金)

- 奨学金は給付とし、返済の義務はありません。ただし、虚偽の申告をした場合、奨学生の義務を果たさなかった場合はこの限りではありません。
- 奨学生の卒業後の就職、その他一切については本人の自由とします。

#### (奨学生の採用)

- 面接は大阪または東京で2025年2月中に行います(予定)。会場に来られない場合は不合格となります。英語での面接も可能ですが、日本語で願書を記入した場合は日本語での面接となります。必ず応募者本人が使用可能な言語で願書を記入してください。
- 3月末日までに採否を貴大学に通知します。
- 採用された場合、弊財団が指定する「確認書」の提出及び2025年7月25日(金)、26日(土)に開催する弊財団認定式への出席が必須となります。確認書提出後は、他の奨学金等を受給する目的で当奨学金を辞退することはできません。
- 原則として8月末頃に前期の奨学金を、12月末頃に後期の奨学金を本人名義の口座に直接振り込みます。

#### 【直接応募について】

- 2025年度の直接応募の詳細につきましては、2025年3月上旬頃に弊財団ホームページに掲載する予定です。
- 今回大学推薦により推薦された方は応募できません。

#### 【願書送付先・お問い合わせ先】

〒540-0021 大阪府中央区大手通 3-2-27  
大塚グループ大阪本社ビル

公益財団法人 大塚敏英育英奨学財団  
事務局 岩橋・佐々木・佐津川・菊本・畑中

電話：06-6105-0870

email：otsukafoundation@otsuka.jp

以上